

シバティンテックが最新の医療情報をお届けします。

Shibata Hospital Report

 Vol.28Vol.28
INDEX

今月の注目

上手な医療のかかり方を国民に周知へ 懇談会が初会合

MEDICAL REPORT

控除対象外消費税問題、医療保険内での対応とすべき ほか

Medical News

1人当たり医療費の地域差、最大と最小で1.37倍 2016年度分析

今月の注目

上手な医療のかかり方を国民に周知へ 懇談会が初会合

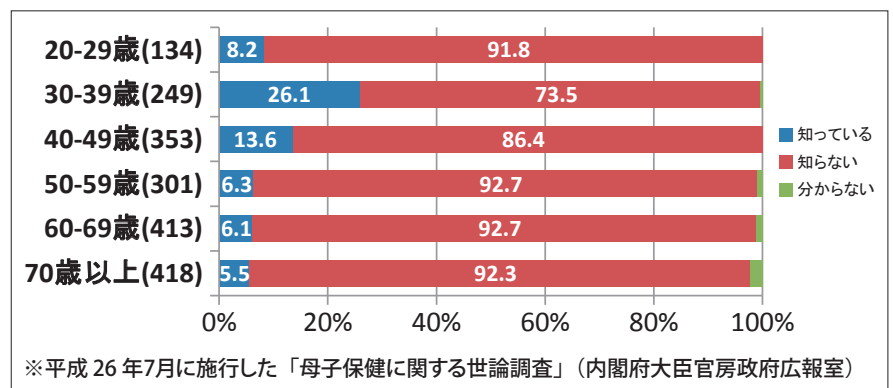
厚生労働省の「上手な医療のかかり方を広めるための懇談会」は10月5日、初会合を開いた。医師の働き方改革で、医師の時間外労働の上限設定が検討される中、休日・夜間の救急外来に患者が殺到するといった、国民の受診行動を変容させなければ、どのような施策を講じても実効性は期待できないとの指摘がある。そのため懇談会では、医療への適切なかかり方を国民に周知するための広報や関係者の取り組みについて検討する。

医師の長時間労働の是正は、医師の健康確保や労働環境改善だけでなく、医療の質や安全性を確保する観点からも重要な課題。一方で、大病院や土日・祝日の外来に患者が集中することは、待ち時間が長くなる、医師から丁寧な説明を受けることができない—など、患者側にとってのデメリットもある。厚労省はこれまでも、都道府県が医療機関の情報を住民に提供する「医療機能情報提供制度」や、小児科医や看護師が子どもの急患の相談に応じる「子ども医療

電話相談事業」などを通じて、適切な受診を促す取り組みを展開してきたが、認知度の低さ（図表1）などから十分な成果を上げるには至っていないのが現状。

こうした実情を踏まえ、懇談会では、▽医療のかかり方に関する情報の収集・整理、各分野の取り組みの見える化など周知すべきコンテンツの整理▽わかりやすいリーフレットの作成▽効果的な広報のあり方▽厚労省の取り組みと各分野の団体の取り組みの整理・連携のあり方—などについて検討する。次回以降、月1回のペースで開催して議論を深め、12月をめどに検討結果を「医師の働き方改革に関する検討会」に報告する予定。

図表1 子ども医療電話相談事業（#8000）の認知度



(出典) 上手な医療のかかり方を広めるための懇談会（第1回 10 / 5）《厚生労働省》より抜粋、一部編集